

## 神戸三田キャンパス講座

### <現代社会を経済学で考える>

#### グローバル人材になるための処方箋 ―開発経済学の視点―

##### ○講師プロフィール

栗田 匡相 (くりた きょうすけ)

関西学院大学経済学部准教授。Ph.D 専攻は開発経済学、国際経済学。世帯や企業といったミクロレベルの詳細なデータを元にアフリカの農業開発から国際貿易の分野まで幅広い研究を行っている。マダガスカルやインドネシアでは JICA、政府関係省庁との共同政策研究として、稲作技術の伝播や効果的な人材育成についての調査研究を行ってきた。ロンドン大学、ブリュッセル自由大学、欧州連合などで客員研究員を務める。国連大学世界開発経済研究所研究員、早稲田大学アジア太平洋研究科助教を経て現職。

##### ○講義概要

混迷を極めるこの時代において、次の社会を担う若者をどのように育てるべきなのか？どなたも一度は考えたことがある問題だと思います。この問いかけに対して、関西学院大学で最もユニークで最もハードなゼミとして知られる経済学部栗田ゼミの取り組み(開発経済学専攻)を通じて、次世代の教育や若者のあり方を探り、ひいてはこの先の社会の展望をグローバルな視点から考えてみたいと思っています。

##### ○参考文献等

<http://kurikuri-research.net/>

\*\*\*\*\*

#### 経済学的な考え方とは

##### ○講師プロフィール

松枝 法道 (まつえだ のりみち)

関西学院大学経済学部教授  
京都大学文学部卒、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校農業経済学博士課程修了(Ph.D.)。専門は環境経済学、および、応用ミクロ経済学。研究業績については、<https://sites.google.com/site/nmatsued/>をご覧ください。

##### ○講義概要

経済学の基本的な考え方を説明した後、それによって人間社会のどのようなことがわかるようになるのかを実感してもらうために、いくつかのクイズと一緒に考えてもらいます。

##### ○参考文献等

梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術:ゲーム理論を实践する』, 中公新書。